

県民向けサービス連携基盤

01 県民向けサービス連携基盤とは

サービス間のデータ連携を簡易に実現するプラットフォーム

- 汎用的な A P I（別システムとの連携窓口）により接続するため、低コスト・短期間で連携
- サービス間の個人特定は、マイナンバーカードを活用した公的個人認証を利用
- 様々なシステムに分散したデータを必要な時に参照できるようにする仕組み



まずは、子育て世帯である「ふく育」ユーザーに対し、「ふく割」のデジタルバウチャーを追加発行

02 県民から見た利用イメージ (統合アプリ)

サービスの入口統合機能

(連携サービスに簡単にアクセスできる環境を整備)



個人情報の管理機能

(利用者自身が個人情報の提供可否・連携サービスを設定)



OFF/ONで切替え

03 サービス連携基盤の活用イメージ 公民連携での健康なまちづくり

